

やさしきしゅうへん

矢代田駅周辺地区

(新潟県新潟市)

- 計画期間 平成18年度～平成22年度
- 面積 710ha
- 交付対象事業費 3,136百万円
- 市人口 776,468人

ポイント 「花と緑の小須戸」をキャッチフレーズに食・花を基軸としJR矢代田駅周辺地域の整備を行い人・物の交流促進

地区概要

駅・駅前広場・道路網を整備し交通アクセスの向上により、利便性、快適性を図り、公共交通の利用を促進し豊かな自然環境を生かした、まちづくりを目指す。

目標 JR矢代田駅を中心とした交通結節点の強化及び道路整備による交通アクセスの向上を行うことによって、公共交通の利用促進によるまちづくりの推進を図る。

指標

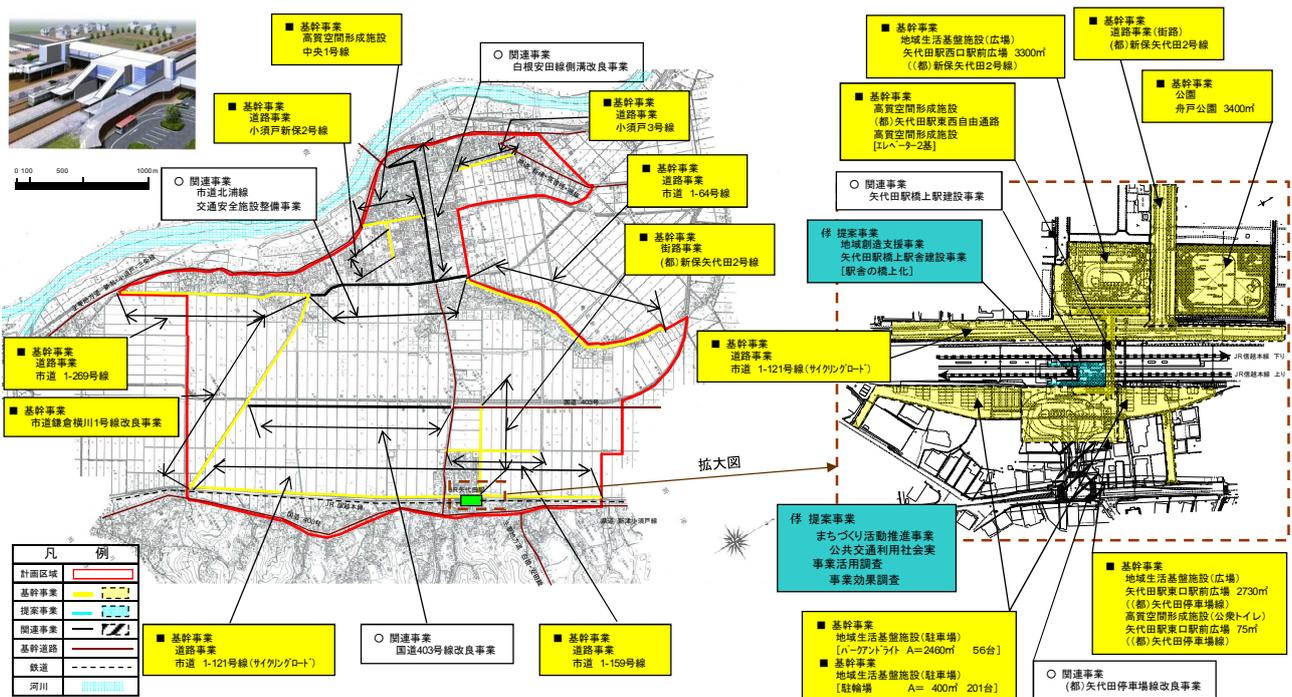
駅・駅前広場・道路網の整備による、定住人口、駅利用者、所要時間短縮を指標とした。

指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	実績値	実績年度
地域内の定住人口	人	10,439人	H16	10,020人	H22	9,970人	H22
駅までの所要時間	分	15分	H17	10分	H22	6分	H22
駅利用者の増加	人/日	1,978人/日	H16	1,898人/日	H22	2,024人/日	H22

事業内容

基幹事業 (2,484百万円) → 道路 (幅員5.0m～18.0m, 延長5,735m), 公園 (1カ所 3,400㎡), 駐車場 (2カ所, 2,460㎡、56台) 自転車駐輪場 (1カ所 400㎡、201台) 駅自由通路 (幅員4.0m、延長60m) 交通広場 (2カ所 6,600㎡) 公衆トイレ (1カ所)

提案事業 (626百万円) → 駅橋上 (1カ所、432㎡), 公共交通利用社会実験, 事業効果分析



地区の現況と課題

当地区は JR 信越線により東西に分断されており、小須戸地区と矢代田 地区の交通結節点としての機能向上を図る東西自由通路及び道路整備が不足している。

提案事業の特徴

橋上駅化

駅東西を結ぶ都市計画道路 8・7・250 東西自由通路設置に伴い、築 90 年以上経過している矢代田駅を橋上化しバリアフリーを推進することにより住環境の向上及び利便性を図る。

公共交通利用社会実験

駅利用者の増加を図る目的と公共交通の利用推進につなげるため利用意向調査を行う。調査結果をもとに列車への接続等を勘案した。小須戸地区から矢代田駅までのバス本数の増設を行い、再度検証する。



駅前の現況



整備前



整備後

計画策定プロセス

地域の合意形成について

矢代田駅周辺地区については新潟市の旧小須戸町の大部分が含まれており旧小須戸町の「都市計画マスタープラン」及び「第 4 次小須戸町総合計画」は、住民意識調査を行い住民の意見を反映したものが総合計画審議委員及び議会の議決を得て策定されており、「都市再生整備計画」はこれに基づき作成したものである。



矢代田駅